

研究実施のお知らせ

2023 年 05 月 13 日 ver. 1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院の新生児一過性多呼吸の入院期間の検討

研究の対象となる方

2018 年 4 月から 2020 年 3 月、2021 年 4 月～2022 年 3 月までの間に新生児一過性多呼吸と診断をうけて、島根大学医学部附属病院総合周産期母子医療センターで入院加療を行った方

研究の目的・意義

新生児一過性多呼吸（TTN）は、出生時の肺にある水の吸収が遅れて生じる新生児期におこる呼吸障害の最も多い病気で、帝王切開で生まれたお子さんに多いとされている呼吸障害です。しかし、どういった赤ちゃんに TTN が起こるのか予測することは難しく、酸素投与で治る方もいれば、人工呼吸器が必要にある方もいて、どういった赤ちゃんが重症になるのかも予測することが難しい疾患です。また新生児期の入院期間は母子分離がおこるため、愛着形成に影響するため、近年より短い入院期間がのぞまれています。島根大学医学部附属病院は 2021 年に総合周産期母子医療センターとなりましたが、センター移行前後の TTN 患者さんの入院期間が短くなっているのかどうかの検討と、TTN のお子さんについて振り返り調べてみて、どのようなお子さんが重症になりやすいのか、入院が長くなるのか調べることで、診療に役立てたいと思っています。

研究の方法

対象となる患者様（出産されたお母さまと赤ちゃん）の電子カルテ記載より、合併している疾患、分娩方法、在胎週数、出生体重、性別、治療内容（呼吸管理の方法、期間、投薬内容）、入院期間について、調べます。集めた情報より、患者さんの背景と治療や入院期間など、何か関連があるかについて検討します。

個人情報の取り扱いについて、収集したデータを外部環境と接続のないパソコンを用いて Excel ファイルに入力し、管理された PC 内にパスワードロックをかけて保管します。収集したデータには、独自の研究番号を割り付けて取り扱います。研究番号と氏名・診療録番号との対応表は、個人情報管理者が島根大学医学部小児科学講座医局の鍵のかかるファイリングキャビネットに厳重に保管します。

研究の期間

2023年9月5日～2025年12月まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部小児科学講座 竹谷健

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：竹谷健

島根大学医学部小児科学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2220 FAX 0853-20-2215